

創立40周年に寄せて



特許庁長官

河西 康之

一般財団法人日本特許情報機構が創立40周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

我が国経済は、現在、「賃上げと投資がけん引する成長型経済」へと移行できるか否かの分岐点にあります。これを実現するためには、イノベーション力の強化が必要不可欠であり、知的財産情報はイノベーションを生み出す源です。そうした中、特許庁としては、「世界最速・最高品質」の特許審査の実現を通じて、日本国内における研究開発を促進するとともに、知的財産を戦略的に経営に活用する「知財経営」の普及・浸透に力を入れて取り組んでいます。

貴機構は、知的財産情報の総合サービス機関として、特許庁の取組を、長年にわたり支えていただいております。特に、諸外国の知的財産情報の翻訳活動については、特許庁の審査における活用はもちろん、産学の研究開発活動における基盤として貢献をいただいております。グローバル化が急速に進む中、貴機構の活動の重要性は高まっており、新たに、特許文献の日本語への全文翻訳を担っていただいております。今後の特許行政との更なる連携を期待しております。

また、貴機構は、AI技術の急速な発展を捉まえて、知財AI研究センターを設立し、AIを用いた、SDGs技術に関する知的財産情報の分析、機械翻訳の高品質化などに積極的に挑戦されております。さらに、知的財産情報関連の日本最大の見本市である「知財・情報フェア&コンファレンス」を、長年にわたって開催されています。知的財産情報サービスを提供する民間事業者とそれを活用するユーザーとの接点を提供するものであり、我が国における知的財産情報の普及と活用に資する意義深い取組です。これらの活動の更なる発展を期待しております。

今後とも、貴機構が知的財産情報の普及及び活用に多方面で貢献されるとともに、ますます発展されることを祈念いたしまして、創立40周年のお祝いの言葉とさせていただきます。